

令和5年度愛媛県産業教育研究大会 教育長祝辞

令和6年1月31日（水）
にぎたつ会館

令和5年度愛媛県産業教育研究大会が、関係者の皆様の御出席の下、盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

本日、御参加の皆様には、平素より本県の産業教育の充実・発展に多大なお力添えをいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

この春卒業予定の本県高校生の就職状況につきましては、非常に高い水準で内定をいただいております。求人開拓や就職支援に御尽力いただいている関係者の皆様、また、本日お集まりの関係機関の皆様の御支援、御協力の賜物と、この場をお借りしてお礼を申し上げますとともに、今後とも、就職を希望する全ての高校生が、社会人としての新たな一步を踏み出せるよう、更なる御支援をお願いいたします。

さて、県教育委員会では、今年度から新たに、県立高校等において、全ての高校生が、地域社会と連携しながら、地域課題の解決に向けた研究活動や地域の魅力発信などに取り組む「ソーシャルチャレンジ for High School事業」を展開しています。高校3年生を対象に実施したアンケート調査によると、学校推薦等の制度を利用して大学等に進学を希望する生徒のうち約6割の生徒が、「地域の課題等を解決する学習が、進路の決定や大学受験等に役立った」と回答しています。また、7割以上の生徒が、「地域の課題等を解決する学習により、地域のことをもっと知りたくなった」と回答するなど、課題解決型学習により得た知識や経験が、将来の方向性を見出す一助になるほか、地域に愛着を持ち、社会活動に主体的に参画しようとする生徒が育成されているものと受け止めています。

大学等への進学後も、この事業を通じて培った創造力や実践力に益々磨きをかけ、将来、地元愛媛で地域の発展に貢献する人材として大いに活躍していただくことを期待しています。

また、県教育委員会では、県立高校の全ての職業学科において、地域や産業界と連携して、専門分野の卓越した技術・技能を身に付けるとともに、地元企業への理解を深める「えひめ未来マイスター育成事業」を実施しており、その中で、地元企業の技術者等を学校に招へいし、実技指導を行う「匠の技教室」や、優れた技術力や経営力を有する県内企業を訪問し、最先端技術等に触れる体験研修などを行い、将来、地域産業を支える専門的職業人の育成にも取り組んでいます。

こうした取組みにより、日本学校農業クラブ全国大会における農業鑑定競技会の森林分野での最優秀賞受賞（上浮穴高）や、高校生ものづくりコンテスト全国大会電気工事部門での優勝（東予高）、全国高校生ホームプロジェクトコンクールでの最優秀賞受賞（伊予農業高）など、今年度も、全国を舞台に多くの生徒が活躍してくれまし

た。これらは生徒の頑張りのもとより、教職員の皆様の熱心な指導の賜物であり、大変心強く感じています。

県教育委員会としましては、今後とも、産業界や地域の皆様方との連携をより一層深め、県内産業の発展に貢献する人材の育成に努めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、御協力と御支援をお願い申し上げます。

結びに、本会の益々の御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御活躍をお祈り申し上げます。お祝いの言葉といたします。